

管理栄養学専攻 履修系統図

後期	4	年	次	期											栄養学特別講義Ⅱ	総合演習Ⅱ	卒業研究	主体性・多様性・協働性																																												
					臨床栄養学実習Ⅴ	栄養学特別講義Ⅰ	総合演習Ⅰ	臨床栄養学実習Ⅳ	臨床栄養学実習Ⅲ	臨床・校外実習 事前事後指導Ⅲ	臨床・校外実習 事前事後指導Ⅱ	公衆栄養学実習Ⅱ	臨床栄養学実習Ⅰ	公衆栄養学実習Ⅰ	校外・臨地実習 事前事後指導Ⅰ	給食経営管理論実習Ⅱ			給食経営管理論実習Ⅰ																																											
後期	3	年	次	期	人体構造機能疾病学実習											多職種連携実践D	多職種連携実践C	思考力・判断力・表現力																																												
					応用栄養学実習	応用栄養学Ⅲ	栄養教育論Ⅲ	臨床栄養学実習Ⅱ	公衆栄養学Ⅱ	臨床栄養学実習Ⅰ	公衆栄養学Ⅰ	給食経営管理論Ⅱ	給食経営管理論実習Ⅰ	臨床栄養学Ⅳ	臨床栄養学Ⅲ	臨床栄養学Ⅱ	臨床栄養学Ⅰ		給食経営管理論Ⅰ	給食経営管理論実習Ⅰ																																										
後期	2	年	次	期	外書講読	公衆衛生学実験											多職種連携実践B	知識・技能																																												
					公衆衛生学Ⅲ	微生物学	食事設計実習	基礎栄養学	応用栄養学Ⅱ	栄養教育論Ⅱ	臨床栄養学Ⅱ	食事調査実習	給食経営管理論Ⅰ	食品衛生学実験	食品衛生学	臨床栄養学Ⅰ																																														
後期	1	年	次	期	医学概論	解剖生理学実習	生化学実験Ⅰ	調理学											多職種連携実践A	栄養学海外研修																																										
					生物有機化学	解剖生理学Ⅱ	生化学Ⅰ	食品学各論	公衆衛生学Ⅱ	臨床医学総論	病理学	生化学実験Ⅱ	調理学実習	臨床栄養学Ⅰ																																																
後期	1	年	次	期	管理栄養士概論実習	解剖生理学Ⅰ	食品学総論実験	食品学総論																																																						
					生命倫理学	食生活論	生物物理化学	生物有機化学	解剖生理学Ⅰ	生化学Ⅰ	食品学各論	食品学総論	公衆衛生学Ⅰ	運動生理学	生化学実験Ⅱ	調理学実習	食品学各論実験																																													
科目群	基礎科学群		専門基礎分野										専門分野					選択科目																																												
			社会・環境と健康	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	食べ物と健康	基礎栄養学	応用栄養学	栄養教育論	臨床栄養学	公衆栄養学	給食経営管理論	臨地実習	特別講義	総合演習																																																
目標	ヒューマニズム、表現力、管理栄養士を目指す気持ちを、栄養学を学ぶための基礎を学ぶ		社会および環境と健康の関わりを理解する										人体の構造と機能を理解する					食べ物と健康の関連を理解する					栄養素等のはたらきを理解する					ライフステージ等における身体特性と栄養管理について学ぶ					健康・栄養教育の実践を理解する					医療・介護・福祉における栄養管理について学ぶ					健康増進と疾病予防を目指す公衆栄養活動を理解する					給食と経営管理を理解する					臨地実習・校外実習へ向けて学習内容を統合する					総合的な力量を高める				

生命栄養学専攻 履修系統図

ディプロマポリシー (学位授与方針)	思想・判断 1. 科学的根拠に基づいて人の健康について考察できる。 2. 栄養学・保健衛生学の学問領域において的確に判断できる。	関心・意欲 1. 予防医学の知識を使って、地域住民の健康増進に意欲をもって寄与できる。 2. 我が国の超高齢社会に対して関心を持ち、生活習慣病の予防に強い意欲を持っている。	態度 1. 医療関係、食品関係、食育関係などの分野で活躍することを希望する。 2. 上記1の分野の担い手として、責任を十分に果たす自覚を持つ。	技能・表現 1. 自分の考えを的確に表現し、人とのコミュニケーションを通して、適切な栄養の指導、医学検査を実践できる。 2. 管理栄養士・臨床検査技師・栄養教諭のリーダーとして社会で活躍できる技能を習得している。
-----------------------	--	--	---	--

